# 五所川原市広報

発行所　五所川原市役所　電話28～128～329
発行兼編集人　総務課・広報係
五所川原市
印刷所　誠美堂　泉印刷社


**市の人口動態**
（8月15日現在）
（住民登録による）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 人口 | 38,197 | 世帯 | 6,68 |
| 出生 | 59 | 転入 | 145 |
| 死亡 | 28 | 転出 | 103 |

# 五所川原市の現況
## 「市民の御協力を望む」

### 豫算および財政について

当初予算は前にも広報にて、御報告申上げたように二億余円でありますが、これは昭和二十九年度、一町六ヶ村一部落合計予算、壱億六千万円に比べて約五千万円の増額でありますが、これは福祉事務所関係費用六千万円分でありまして、実質的にはむしろ減少しているのであります。

しかしその後、二回の追加にて約五千万円を追加いたしておりますが、その大部分は五二戸公営住宅の追加分と壱千参百万円にのぼる飯詰小学校の追加分に外なりません。

公営住宅関係は半分ないし、三分の二は補助であり他は長期債で賄え得るもので起債の返還は年々百弐拾万円家賃の方も百弐拾万円にて丁度つり合うことになつておりこれが五年を経過いたしますと、元金が減少してゆくため、若干ずつ黒字に転化、拾年位で市の財政をうるおすようになります。又飯詰小学校（昭和三十年二月全焼）の分は全額起債であり、年々百万円位の返還で間に合うのでありますこの予算で特に目立つ点を二、三述べて見たいと思います。

#### 交際費

先ず交際費の点であります。これは現在まで約百万円使用されていますがその内訳は次の通りであります。

ねぶた、各種行事に対する祝儀（件数…約一〇〇　平均…二五〇〇円　敬老会、婦人会、各種スポーツ、遺族会に対する補助金をも含み）　250,000円
各種事業のための陳情費　400,000円

| | |
|---|---|
| 上水道、 | 35,000,000円 |
| 飯詰小、 | 15,000,000円 |
| 住宅、 | 30,000,000円 |
| 病院、 | 10,000,000円 |
| 市役所、 | 2,000,000円 |
| 消防、 | 1,000,000円 |
| 裁判所、 | 40,000,000円 |
| 計 | 133,000,000円 |

で、これは補助、起債、国費等で中央にてこれ等の予算を獲得するためには約一割即ち一〇、〇〇〇、〇〇〇円を必要とすると云われるのが、わずか六厘位で出来ています

右の事業を獲得するため実際の市としての交際費　五〇、〇〇〇円

に市長は七回上京いたしておりますが、市長の旅費は日当参百円、宿泊料壱千弐百円、二等旅費となつておりますので、一週間約壱万五千円の旅費で賄うため、電話もない三流の旅館に泊つて陳情をつゞけている訳でありますがこの旅費を加えても拾万円であり陳情費の率に比すればわずか一厘にも満たぬ有様であります

#### 消防ポンプ

次は消防ポンプの速消車の問題でありますが、これは消防協会の協定価格で購入し、三分の一は補助金他の大部分は起債陳情中であり、純市費は幾等も食わぬものと思います。しかも火事は最初の五分間で決するものでありまして、その点速消車は走り乍らも放水出来ます。東北一を誇るもので、前大火時にこの速消車が備わつておりましたならば一、二軒の火事にて消し止め得たでありましよう。

今日この頃　幸当市には火災がありませんがこの速消車の偉力は小阿弥、梅沢等の火災に於て発揮されており多大の感謝を受けて居ります。

市民を災火より護つてくれることは疑いなく出来得れば今一層奮発して日本一の速消車もほしいと思つて居ります。

これにつれて最近市で買求めましたトラック及び乗用車について述べて見ましよう。

#### トラック

トラックは市内の塵芥処理のため購入したのでありますが、今までは馬車を借入れてやつていたもので、この借料は年七拾万円にのぼつていたものであります

しかし、トラックを購入することにより、わずかのガソリン代にて使用でき、約二年間にて消却できるようになつております。

#### 乗用車

又乗用車は今まで年間五拾万円位の予算にて他タクシー会社から借用しなければならないものをその分節約ができ、しかも乗用車使用しての出張に対しては旅費の支給が必要ない所からこの点で約年間三、四拾万円の節約となり、これ又二三年にて消却できることになつております。

尚この乗用車は米国駐留軍の好意によりまして六拾万円で購入した物でありますことを附加えておきます

#### 財政問題

さて財政問題にふれて見たいと思います。

当市が合併するときくり越しとなるべき金が一銭もなく赤字と云うべきものが参千五百万円あつたのであります。しかも合計予算額の半分が九月三十日までに使用され六校にのぼる学校建設、冬期分の燃料等、むしろ下半期に多く予算が使用されるのにもかゝわらず節約に節約を重ね昭和三十年度よりの赤字充当金を参千参百万円に縮少したのであります。即ち半年の間に弐百万円だけ赤字をなくしたことになります。

しかして予算総額に於て壱千余万円の減税をした為市の財政の苦しいのがあたりまえでありまして、今もし合併時の赤字参千五百万円がなく、壱千余万円の減税をしなかつたならば少くとも四千万円に近い現金が市の金庫にうなつているわけでありまして、市の財政が楽すぎて困つていることでありましよう。

現在市の短期債は弐千七百万円で、除々ではありますが赤字が減少しております、即ち年度当初参千参百万円のものが六百万円位減少したことを示しております。

市民の皆様におかれましてもよく市当局に御協力下さいまして、納税にはげんでくれますならば赤字解消も間近いことであります。

### 官公庁の建設について

#### 裁判所

先づ裁判所の建設について申上げます。

前にも申述べましたように裁判所の新改築が昭和三十年度の国の暫定予算にて決定を見、今年度来年度との二ヶ年計画にて完成、当市に偉観を程することでありましよう（但し右金額は国庫金であります）

当裁判所は鉄筋コンクリート二階建、当市初めての水洗便所を有する建設費約四千万円の当市最高をほこる建物となりましよう。

この新築については次の様なことがあります。

実際県内では今青森裁判所の建設が行われて当市の新築は困難な問題であつたのであります。しかし市議会の協力と市長会における当市のモデルケース問題により、最高裁判所においても終に取上げるようになつたのであります。

県庁所在地にある地方裁判所以外にて、鉄筋コンクリート建は初めてでありまして、しかも全国最大の裁判所支部が出来上ろうとしております。

#### 法務局

この裁判所問題につれて法務局の問題が浮んで参ります。法務省といたしては現検察庁舎内に併設せしめる予定。あつたのでありますが、市当局の努力が実を結び法務省の営繕課長に来年度新築を確約させしめたのであります。

官庁と云うものは予算が大蔵省で組まれる関係上、絶対に来年度のことは確約せぬものとされておりますが、確約したわけですから来年度は法務局も新築されることは疑をはさむ余地のない所であります。

#### 電報電話局

市民の皆様として最も関心をよせられておるものに電報電話局の新築問題でありましよう。

これは建物設備に弐億五千万円、配線工事を入れますならば約五億円のそれこそ西北両郡にとつても岩木川改修工事に継ぐ大工事となるわけであります。

これも共電式として来年度からかゝることに決定を見ております。即ち建設序列か東北で第一番であります（これは市民の税金には関係ありません）しかし仙台にある電通局といたしましては、モデルケース問題もあり自動式の計画が相当強力に出ており、自動式の局が実現するならば、八戸弘前にさきがけて一歩文化的な電話を有することになります。

しかして東京、青森間の即時電話建設も間近いことであり、当市の自動式電話開設も合まつて当市と東京その他との即時通話が出来必然的にテレビも見られるのも遠い夢ではなくなつたわけであります。

### 當市の建設事業問題について

当市の建設事業問題について一番大きな問題は上水道問題でありましよう。

#### 上水道問題

この事業は本来ならば昭和二十八年度から三ケ年事業でありますために、本年度にて完成してあるはずの所、実際に工事にかゝれたのは昨年度の予算七百万円のため、容易でない所に追いこまれたわけであります しかも地ばんのあやまりから、当初六千万円の予算が九千万円でなければ完成不能に陥入つたのであります

現在夜間断水が行われており、しかも火災期の晩秋がせまつております現況にて弱りはてた市当局は再三再四の建設省に対する陳情により、上水道技術面では日本有数と云う東京水道局金町工事々務所長浅野技師の来五となり、調査研究の結果、日本では新潟県長岡市外数ケ所でしか使用されていない急速式に切替えることに建設省の許可を得、設計を大幅に変更したのであります。

しかもこれによれば全工事費が六千余万円で出来、今年度約二千五百万円の起債の見通しもつき、工事担当者であります三井建設株式会社社長以下の好意によりまして、ともかくも今年中に給水することになつたのであります。

市民の皆様、おひまの折に岩木川畔にお出かけ下されエ事の現場を御らん下さるようお願い申上げます。

#### 住宅問題

次は市民の皆様の生活に直接関係のあります住宅問題について申述べたいと思います。

市といたしましては、建設省並に県の御好意によりまして耐火住宅五二戸（県下一三〇戸中）木造住宅二〇戸を得ました。これらの予算上の問題については前にも申述べましたので、さしひかいますがこれにより市民皆様方の住宅問題が大部かんわされることになりましよう。

#### 其他の問題

その他結核療養所の三十余床増築、飯詰小学校その他設備の新改築等市当局といたしましては日夜努力しておりますので、市民各位におかれましてもよろしく御協力をお願い申上げる次第であります。

尚さゝいな事でありますが、蚊やはえの撲滅のため薬剤を散布いたしましたが如何でしょうか、これは市会議員の皆様の懇談会費を節約して行なつたものであり、市当局といたしましては議員諸公の良識に感謝している次第であります。

市当局の将来の計画といたしましては、公園、運動場、遊園地等がありましてこれも建設省にお願いいたしまして設計、並びに建設の援助方をお願いしております。

この点に付ても皆様方の御協力をお願いして止ません

### 人事問題について

市運営を左右するのは、市職員に負う所が非常に大きいのであります。その点現在おります職員は、日夜を分たず市発展のため努力しておるのでありますが、尚足らない点は市民の皆様の御鞭達によりまして補つて行たいと思つております

今年の当初に於て一度退職金の出ました旧町村特別職の方に、労をねぎらつて退いて戴きましたがその後有為の方々には職員として市に奉職願つております。

現在定員は、合併時より若干増加を見ましたが、これは上水道工事のためのもの各旧村へ診療所を新設した分、また市立病院の完備等によるものでありまして この点市議会議員の方々が満場一致をもちまして認めて下さつたものであります

尚唯今若干の臨時雇が入つておりますが、選挙のためのもの、公営住宅建設のためのもの、皆様の子弟を守るための水難監視人（岩木川）等がそれであります。

### 結論

五所川原市は市民各位の絶大なる御援助によりまして、他市に見られぬ位の成果を挙げております。

新合併市にして建設五ケ年計画が、このように進んでおります所は五所川原市以外にありますまい。しかも他市は大部分増税いたしております。即ち自治庁の見かたといたしましても合併当初は予算が食うものとされていたのでありますが、当市においては苦しい乍ら減税いたしました。また建設省計画課においても当市の援助をおしまず、しかして市の発展をうたがわぬ所であります。

市民の皆様におかれましても、納税その他におかれまして、市当局を御援助下され、市発展に一致協力をおしまざるようお願い申上げる次第であります。

最後に一言喜こんで戴きたいことは、合併新市において各議員が満場一致でいつたのは殆んど稀であります。此のように五所川原市が各方面に成功をおさめつつありますのも、議員諸公の協力の賜でありこの点市当局といたしましては感謝してやまない所であります

### 五所川原市議會議員の選挙

来る九月十三日は五所川原市議会議員の一般選挙が行なわれます

尊い一票を行使するためには選挙人名簿に登載されていなければなりません

当日選挙人名簿に登載されている人で入場券の届いていない人は投票所にお出になつて投票して下さい

各選挙区の候補者は左の通りであります　（届出順）

#### 五所川原選挙區候補者

荒谷勝太郎・加藤郁之助
山川彌太・小田桐七郎
寺田惣次郎・小島誠三
田附健四郎・三浦藤一
木村千代吉・菊地清助
秋元久吉・山谷滿廣
田中久七・和田新
木村重吉・中野修三
古川篤三郎・鶴谷初太郎
小山内福次・鹿内藤太郎

#### 松島選挙區候補者

森平内・小野秀雄
太田繁太郎・山内藤七
加藤謙六・小野稔

#### 榮選挙區候補者

山田善一・笹森征五郎
平山武太郎・葛西保

#### 毘沙門選挙區候補者

山口隆榮・佐藤忠夫
北川孫一

#### 三好選挙区候補者

長尾角左衛門・田中專之作
伊藤柾四郎・小林啓一
高橋文治・澁谷嘉七郎

#### 長橋選挙区候補者

藤田吉之助・小田桐政吉
笹森豊作・長尾喜榮
仙庭榮八

#### 飯詰選挙区候補者

大久保新市・今嘉四郎
松本與三郎・鳴海武則
工藤豊太郎

#### 中川選挙區候補者

小野豊四郎・奈良繁太郎
奈良乾一・秋田長兵衛
片山英一

# 片あしで立つ お山の頂上

## 涙で消える君が代

二十八日二時半起床、昨夜用意の巨大なお握りを二個宛朝と昼の二個宛、それに頂上での防寒の用意を整えて三時半宿を出発した。

月のない空では星が美しく輝いて居るけれ共木立の山路で足元は暗く懐電燈を頼りに進めば、岐れ途で迷うなど笑えない喜劇を演じながら、雙脚の増田さんは松葉杖で元気に先頭に立ち、サイギ〳〵六根清浄と連唱すれば、山はこだまで答えてくれる。

朝露にぬれた熊笹を分けて草原を過ぎ樹の密林に入る頃、ほのかに朝の色が漂念したのではあるまいかと心配していた。

その時遥か下の方からサイギ〳〵六根清浄の合唱が聞こえ、だん〳〵近づいて来る、しかも其合唱があまりにも元気にみちた力強さとなって迫って来るではないか、きっと他の登山者が応援して連れて来たものと判断し再び前進した、約百メートル位で前進部隊も待ち合せてくれたので後続部隊も元気で登って来ると報告して後続部隊の連絡をとり再び前進した。

頂上から帰る人々と会って途を教はり次の峰へと移ったが再び後方の連絡を失ひ十分……二十分何の応答もない。

濃霧は深く十米先きも見えない。風のウナリは岩角をかすめて吹きまくる。前方の連絡は絶えたが後方で小さい藤田君の可愛いゞ一ツホーの応答で前進をはじめた。

吹き飛ぶ濃霧を透して

## 頂上の標柱

### 吹き飛ぶ雲は 呼ぶ聲遮り

難所石坂を登りつめた先の一隊の最後にあった私はヤッホーと後続部隊と連絡して見たが更に応答がない先きの一隊と分れて十分―二十分ヤッホーと呼んだ、連唱すれば、山はこだまで答えてくれる。

朝露にぬれた熊笹を分けて草原を過ぎ樹の密林に入る頃、ほのかに朝の色が漂念したのではあるまいかと心配していた。

その時遥か下の方からサイギ〳〵六根清浄の合唱が聞こえ、だん〳〵近づいて来る、しかも其合唱があまりにも元気にみちた力強さとなって迫って来るではないか、きっと他の登山者が応援して連れて来たものと判断し再び前進した、約百メートル位で前進部隊も待ち合せてくれたので後続部隊も元気で登って来ると報告して後続部隊の連絡をとり再び前進した。

頂上から帰る人々と会って途を教はり次の峰へと移ったが再び後方の連絡を失ひ十分……二十分何の応答もない。

濃霧は深く十米先きも見えない。風のウナリは岩角をかすめて吹きまくる。前方の連絡は絶えたが後方で小さい藤田君の可愛いゞ一ツホーの応答で前進をはじめた。

吹き飛ぶ濃霧を透して

## 頂上の標柱

風は益々強く呼吸も困難な有様で一且休止はしたものゝ全然視野はきかず、免角も登りついた所が馬頭観音を刻んだ岩のある平地で風も静かでホッと一息ついたのが出来た。

さて前方にも後方にも答えるものは風のウナリだけ勢論頂上への方向もわからず、あとできばこゝで途を間違ふ所なのだといふ。

これから先はいよ〳〵最後の難関、切り立った岩壁百米の御神坂（オミサカ）をしたが再唱の時には、よくぞ成し遂げた感激に胸せまり相携して涙するのみ。

遂に歌にはならなかつた。

やがて音頭で全国百余万身体障害者のために万才を三唱して九時三十分下山の途についた。幸にも薄陽かざし初め霧も時折り晴れ下界の眺望は妨げられたが気象条件は良好となり安堵の胸を撫でおろした。

### 涙ぐましい 團結の力

完全な五体では降りるのは楽であるが障害者の場合は登り以上の苦労である、万一を慮つてロープ迄使用して雙脚よく雙脚を援護して下山した見上げる秀峰よくも登つたものだと誰しも

御神坂（オミサカ）

は健康体でも容易でないのだ、一同は腹這ひになつては休み重い義足を引きづつては一歩と約百米突を一時間以上費して苦闘の結果一人の落伍者もなく、奇蹟といふに近いもので全員頂上に感謝の礼拝をしたのである。

飛び去る雲の切れ間を見て山頂で記念の撮影を終り妻のリードで君が代の合唱も感無量であつた。

意外に時間を要し三時半出発八時五十分頂上着で、五時間二十分を要し、下山は九時三十分到着は三時三十分で、六時間を要した。

## 結び

僅か十数名の岩木登山の成功といふ様な、これは決して小さい問題ではなく、全国百数十万身体障害者に寄与する精神的影響を考えるならば、その意義の重大さも自ら明白なことで、只々よくぞやり遂げてくれた と参加全員の美はしい互助の精神と涙の努力に満腔の敬意を表し、全身に漲る自信の力を活用して明日からの更生の活動に祝福を祈念して擱筆する。

（写真は頂上を征服した一行）

## 皆んなでやろう 秋の大掃除

右について左記の通り行いますから家屋内外の清掃を徹底して行うようお願い致します

記

一、清掃の重点

1、家屋内を清潔にし寝具、タタミ等日光消毒を行う

2、ねずみ及び昆虫類の発生源を除去する

3、每戸で下水を掘上げ流通をよくする

二、期日　九月二十六日より四日間

三、雨天順延

四、町内別日割

◎九月二十六日

田町、宗一町、新町、鎌谷町、柳町

更生街、弥生町＝午前

元町、東町＝午後

◎九月二十七日

布屋町、川端町、旭町

本町＝午前　大町＝午後

◎九月二十八日

寺町、岩木町、錦町、新宮町、上平町＝午前

鳥島町、柏原町＝午後

◎九月二十九日

敷島町、下平町、下井町、中平井町＝午前

平井町＝午後

◎九月三十日

平井町＝午前

◎九月三十日

平井町＝午後

◎支所は到着次第、日時を決定施行する。

## 五所川原市 教育委員選擧

来る九月二十三日は五所川原市教育委員會委員の選擧が執行されますから、昭和十年九月十二日以前に生れた人及び昭和三十年九月十二日までに引續き三ケ月以上當市に居住し、五所川原市民となつた人は九月十三、十四、十五の三日間に市選擧管理委員會に申請にお出になつて下さい。

正九年に行われましたがそれからほゞ五年ごとにこの調査は第八回目の調査にあたります。

国勢調査は、統計法の定めによつて行われる国の基本的な統計調査で、全国の人口の状況を調べ政治や行政治的な理由で本名をなのられる旧松島地内、桃崎、尻無、大刀打、中村、濱川一の坪等各部落の井戸水の水位が極端に低下し相当数のものは既に使用不能になつている実情であります。

で水道を使用される方も多くなつたとしたら四年前と同様なく納付することによつて水をするより方法がなくなるわけであり「今日水を粗末に使用することは明日何も使用出来なくなる理である」ことを御承知の上何分の御協力をお願い致します

四、先般の広報紙に掲載の

## 節水と料金について 水道課よりお願い

一、来る九月十五日頃より水道水の塩素滅菌を強化されます、従来は飯詰浄水場の原水塩素による消毒を行なつて居りましたが、最近新宮原池の硫酸消毒を兼ねて液体塩素による滅菌装置をすることになり目下注文中であります。

その工事が完成する当市の水道も塩素が使用されます。

二、今迄の水道水は、金属臭等を入れる必要が無く、死ぬ危険がありますが、この塩素臭は、すぐ消えるから安心して使用するようにしたいと思います。

三、水道の給水栓に直結しなごうホースを洗濯たらいに給水するように願います。

ますが、これは断水したき水道管の陰圧により必ずその容器中の汚水を管内に逆流させ、もしその中に有害菌でも入つて居ると全水道が汚染され集団発病等の事態を惹起しないとも限りませんのでゴムホースを取て使用することは厳につしまれるように願います。

三、当市上水道は飯詰浄水場（三十年前建設）と下平井町の補助水源地（四年前建設）より交互に給水して居りますが下平井補助水源池は県営ノタンガス井を利用した所謂深井戸よりの揚水であります関係上皆さんに給水するために揚水すれば地下水の水脈が同一とみられる旧松島地内、桃崎、尻無、大刀打、中村、濱川一の坪等各部落の井戸水の水位が極端に低下し相当数のものは既に使用不能になつている実情であります。

で水道を使用される方も多くなつたとしたら四年前と同様なく納付することによつて水をするより方法がなくなるわけであり「今日水を粗末に使用することは明日何も使用出来なくなる理である」ことを御承知の上何分の御協力をお願い致します

四、先般の広報紙に掲載の

## 國勢調査文藝欄

### 一、標語　戦前戦後

◎筆一本で出來る御奉公
◎一枚の紙で御國へ御奉公
◎民主政治は國調から
◎申告は一に正直二に正確
◎うそいえば國勢調査は水の泡

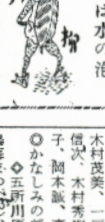
### 二、川柳　落語風景

◇調査洩れ五年間は亡者なり
◇職業が並ぶも嬉し共稼ぎ
◇ちゃばは互に年をたづね合い
◇お妾は國勢調査をうさかい
◇配偶を「死別」と書いて思い出し

### 三、都々逸　人生劇場

◆何を恥ちよう御國のためじゃ
書いて下さい共かせぎ
◆昨日坐つた花嫁さんは
籍はなくとも妻と書く
◆妻とかいて嬉しかれども
一層入籍心して欲しい
◆捨てた女房に未練はないが
「離別」と書いて想い出す
◆死別と書く字も涙でにじむ
獨り世帯の針仕事
◆願い叶うて持つた世帯
嬉しや調査の数に入る

（以上國勢調査準備委員会）



## 戸籍の窓　8月分

◎よろこびの部（出生）

◇五所川原

原千鶴子、飛鳴浩一、教賀久子、竹内都秀子、鯛田京子、神義孝、太田則子、三上信男、奈良浩平、一戸敦勝、成田正夫、成田俊秋、田中薫、工藤清光、笠井トモ子、鶴谷伸一、対馬信子北川文子

◇栄

笠井正博、山内のり子

◇松島

外崎睦子、高橋れえ、小田桐正明、笹森明

◇長橋

土岐清信、伊藤輝一、中川とも子、斉藤益子、中村瑠美子、松野ユキ子、工藤せい子、須藤嘉弘、成田節子、成田美津規、寺田正明、須藤修三、片岡祐幸

◇飯詰

菊地ユウコ、山口章子、浜舘保　和田明彦　木村重光

◇中川

秋田せつ子、高橋寿子、吉岡志修、藤森栄作、岡田広美、山川衛、原田紀子、笠井睦子、吉岡寿子、笠井忠義

◇三好

木村茂美、一戸政勝、一戸信次、木村秀樹、一戸いつ子、岡本誠、高橋勝弘

◎かなしみの部（死去）

◇五所川原

鳴海まつ（83）、小川ニヲ（78）、斉藤ちよ（71）、佐々木とよ（74）、平山きよ（62）

◇栄

岩淵一（6）、木村直彦（3）、平山キク（71）、平山きよ（62）

◇松島

対馬武則（3）、太田トシコ（83）、坂本カヤ（62）

◇長橋

横嶋順子（1）、斉藤定次郎（74）、長尾すみ（54）

◇飯詰

平山茂義（25）

◇中川

秋田せつ子（0）、外崎要吉（62）、鎌山みえ（79）、秋田俊悦（3）、藤森ゑ（63）、笠井忠義（0）、鎌山りよ（60）

◇三好

三浦ふみ（75）、青山つや子（1）、青山正美（19）